

		科目コード	20072
		認定社会福祉士研修認証科目	○
科目名	インタープロフェッショナルワーク		
講師	木戸 宜子・鶴岡 浩樹		
回数	全8回（4日間）		
日時	9月27日・10月4・11・18日（金）19：00～22：10		
場所	オンライン（Zoom）		
単位数	1単位		
内容	<p>【概要】 保健医療福祉サービスを活用する利用者やその家族への支援を、様々な地域の機関に所属する専門職との連携および地域住民やボランティアなどとの連携によって実践するための理論の理解を深める。 演習として、実際に自分達が実践している現象との照らし合わせを行って理論と実践をつなぎ合わせ、意図的な専門職連携実践ができるよう、専門職連携の実践力を養う。</p> <p>【ねらいと到達目標】 患者・利用者やその家族への支援について、専門職連携、機関間連携によるアプローチを実践するために必要な力量の向上を図る。 インタープロフェッショナルワークが必要となった背景について理解し、実践における基本的な考え方、専門職に求められる能力、スキルを習得する。インタープロフェッショナルワークの観点から、自己の実践を省察し、改善課題等を検討する。</p> <p>【進行予定】 第1回インタープロフェッショナルワークの必要性・視点、保健医療福祉分野の専門職と共通基盤 第2回専門職連携教育、教育方法論 第3回インタープロフェッショナルワークの構造・カンファレンス 第4回インタープロフェッショナルワークの事例分析 第5回模擬インタープロフェッショナルワーク 第6回模擬インタープロフェッショナルワーク 第7回小グループごとにプレゼンテーション 第8回模擬インタープロフェッショナルワーク チームのリフレクション ①メンバーが自己のリフレクション ②チームがメンバーのリフレクション ③メンバーがチームのリフレクション ④チームがチームのリフレクション のステップをふんで 〈参考文献等〉 大塚真理子・木戸宜子・鶴岡浩樹編著「地域共生社会をつくる 多職種連携・協働のあり方とは」（ワールド・プランニング、2023） 埼玉県立大学編「新しい IPW を学ぶー利用者と地域とともに展開する保健医療福祉連携」（中央法規出版、2022）</p>		
出願〆切	8月 28日（水）（消印有効）		

